

データに、物語を。



2026年3月期（第63期） 第2四半期 決算説明資料

株式会社 ODKソリューションズ

証券コード 3839





I. 決算の状況	2
II. 業績予想	9
III. 上半期のニュース	11
IV. 中期経営計画	18
Appendix	24

エグゼクティブサマリー

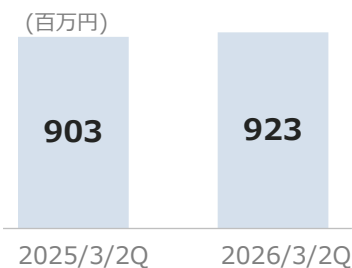
売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
2,100 百万円	YoY ▲7 (▲0.4%)	▲395 百万円	YoY ▲51 (-)	▲310 百万円	YoY ▲49 (-)

- 売上高は計画通り順調に進捗
- 利益面においても当社の収益傾向(P.3)にともない、下期における改善を見込む

教育業務

923百万円 YoY +19 (+2.2%)

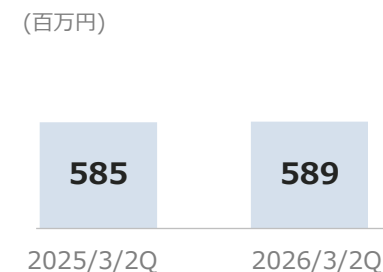
- (+) 大学入試業務等の開発進行
(原価回収基準) による売上の増加



証券・ほふり業務

589百万円 YoY +3 (+0.6%)

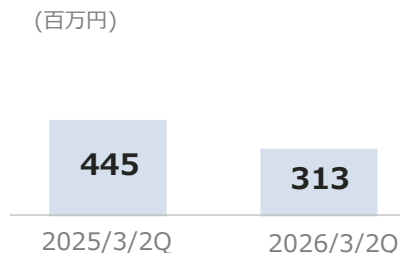
- (+) 証券総合システム『WITH-X[®]』
の国内ネット証券会社向け開発
の増加



一般業務

313百万円 YoY -132 (▲29.7%)

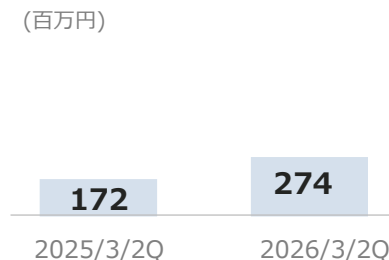
- (-) 医療関連サービスにおける
臨床検査基幹システム開発
の剥落
(-) 医療システム用プリンタの
機器更新の剥落



その他業務 (子会社等)

274百万円 YoY+101(+58.8%)

- (+) NINJAPAN株式会社の
通期売上寄与





決算の状況

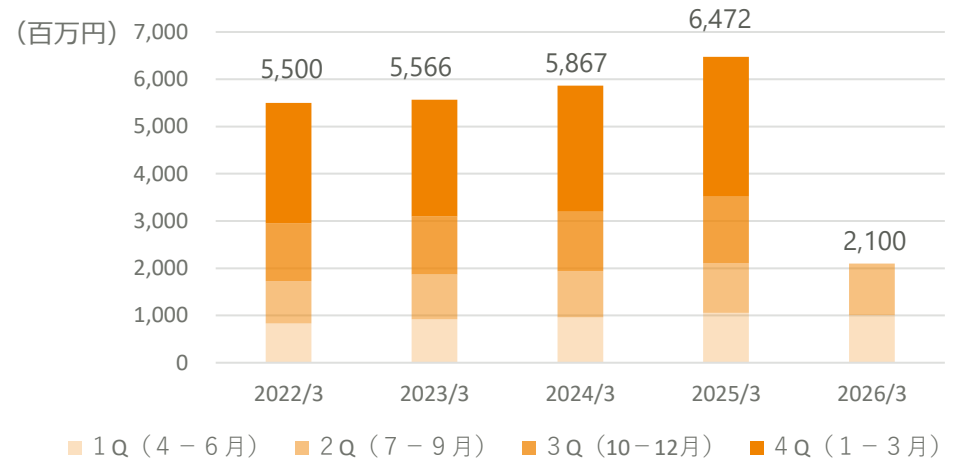
当社の収益傾向について

当社グループの事業は、大学入試業務をはじめとした利益が第4四半期に増加する傾向にあります。

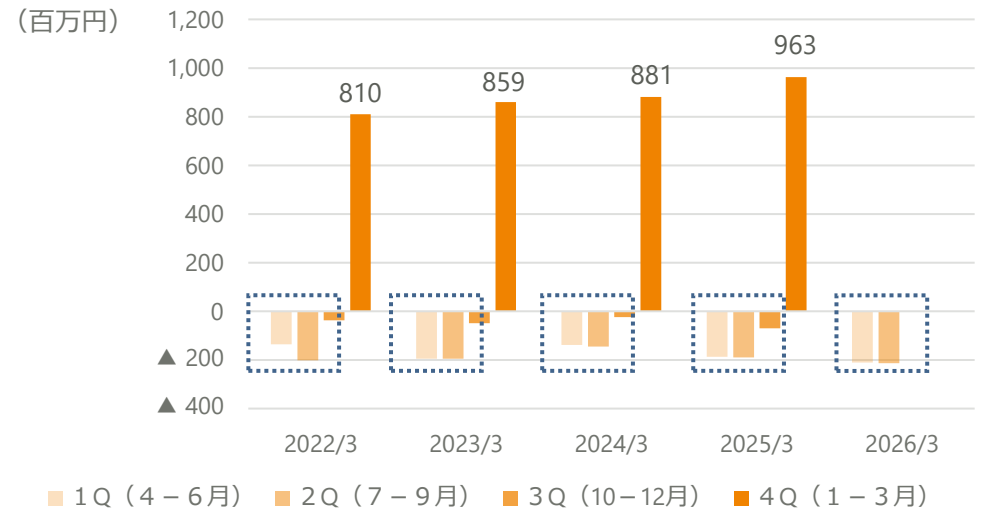
一方で、人件費等の固定費は、四半期ごとに変動する性質ではないため、結果として、例年第3四半期までの損益がマイナスとなります。

しかし、通期では当該マイナスは解消されております。

四半期会計期間の売上高累計（連結）



四半期会計期間の営業利益（連結）



連結損益計算書 (2026年3月期 第2四半期累計期間)

単位：百万円、%

	連結	前期比増減	増減率	ODK単体	前期比増減	増減率
売上高	2,100	▲7	▲0.4	1,826	▲109	▲5.6
営業費用	2,524	39	1.6	2,176	▲98	▲4.3
支払手数料	619	▲36	▲5.6	608	▲12	▲2.1
機械賃借料等	275	▲57	▲17.1	266	▲58	▲17.9
労務費経費	846	▲12	▲1.5	703	▲41	▲5.5
販管費	783	146	23.0	598	13	2.3
営業利益	▲423	▲47	-	▲350	▲10	-
経常利益	▲395	▲51	-	▲365	▲8	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲310	▲49	-	▲273	▲4	-

機械賃借料等：主に、昨年発生した医療関連サービスにおける仕入や『UCARO®出願』のクラウドサービス利用料の剥落による減少

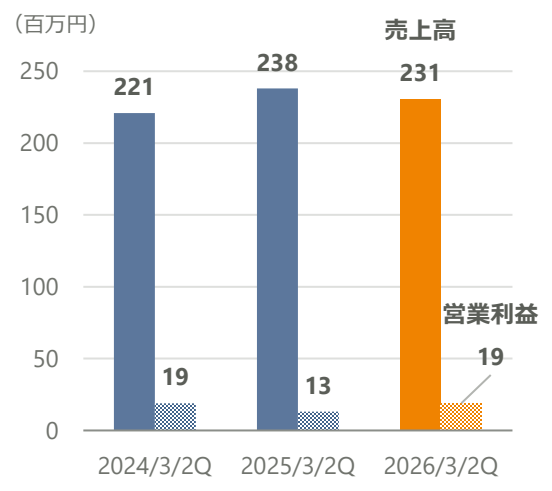
販管費：主に、NINJAPANのグループインによる人件費や広告宣伝費等の増加



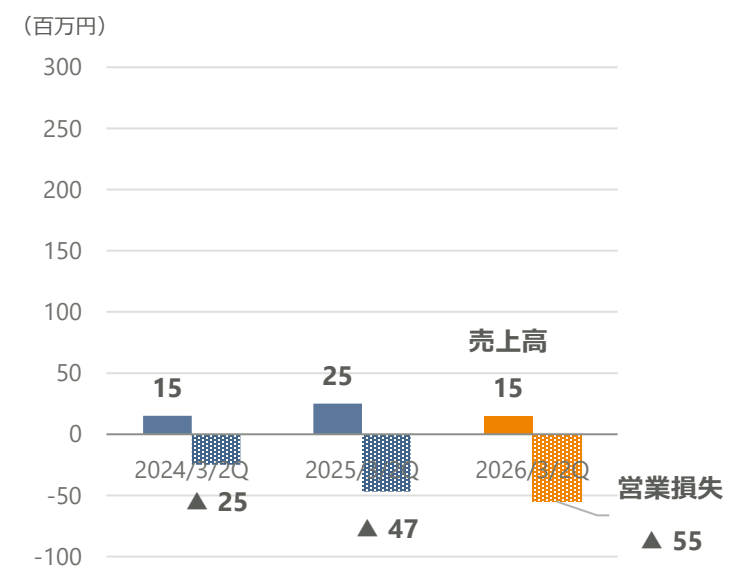
決算の状況

子会社の状況

エフプラス

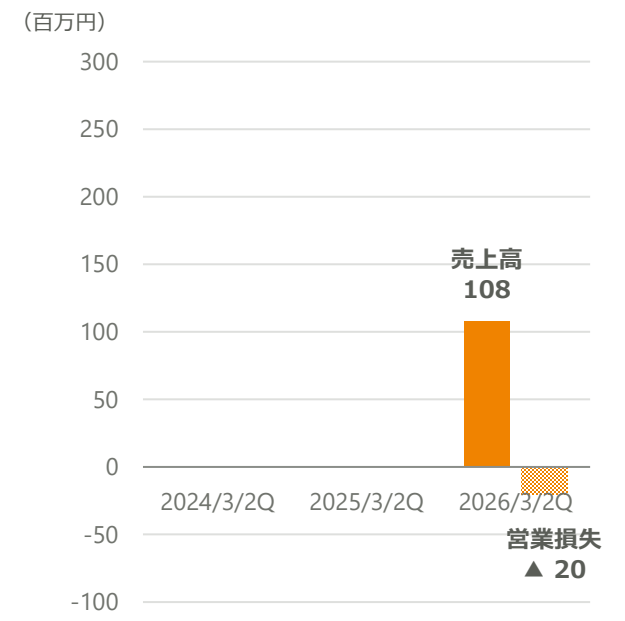


ポトス



NINJAPAN

※2025年3月期3Qから連結対象

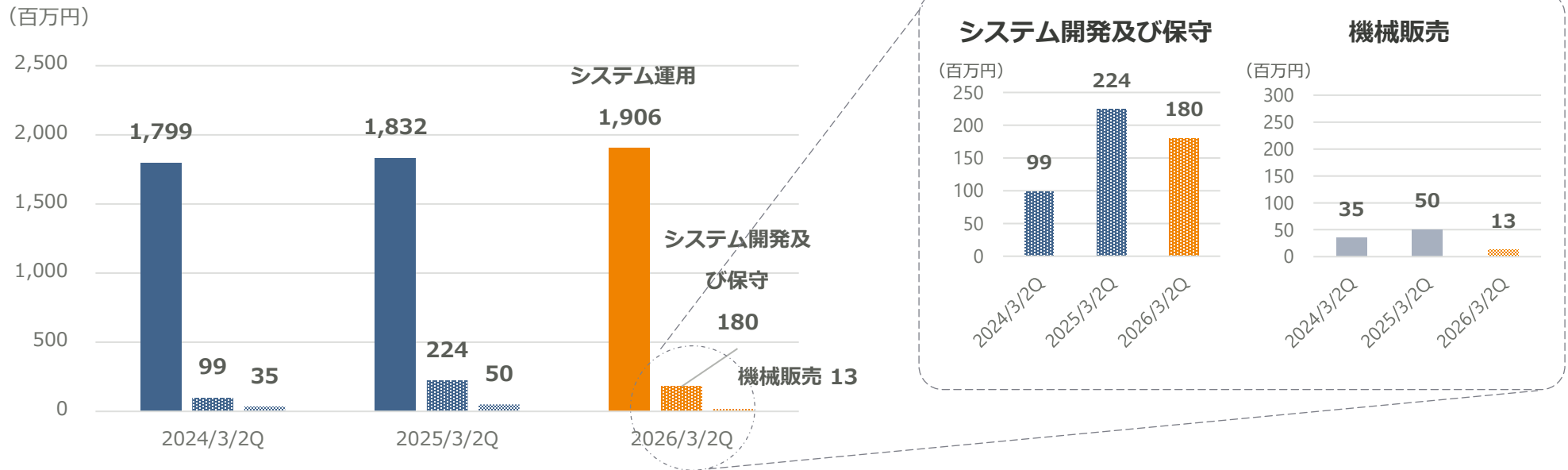


■ エフプラスとECSの合併について
 エフプラスとECSは、2025年4月に合併いたしました。
 エフプラスの2024年3月期及び2025年3月期は、エフプラスとECSを合算した数値です。



決算の状況

事業別売上高の推移 (連結)



■ システム運用

連結会計年度に連結子会社となったNINJAPANの売上寄与等により、増収

■ システム開発及び保守

医療関連サービスにおける臨床検査基幹システム開発の剥落等により、減収

■ 機械販売

医療システム用プリンタの機器更新の剥落等により、減収

2026年3月期 第2四半期における連結貸借対照表

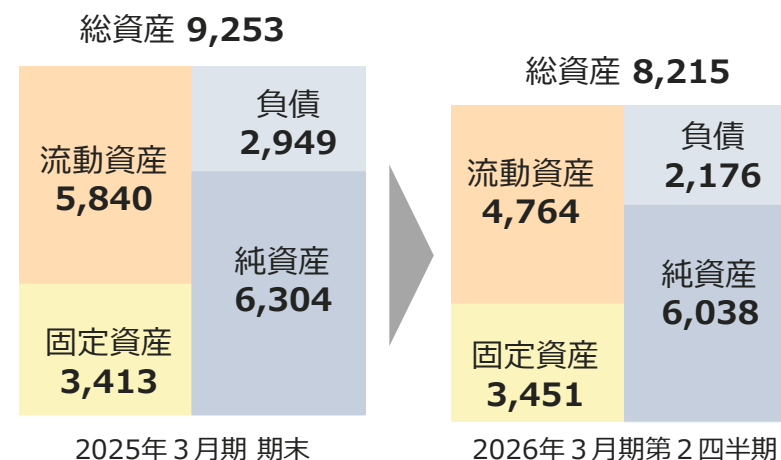
(百万円)	25年3月期 期末	26年3月期 第2四半期	増減額
流動資産	5,840	4,764	▲1,076
現金及び預金	3,273	3,507	233
売掛金及び契約資産	2,450	1,035	▲1,415
仕掛品	1	0	▲1
その他	116	221	105
貸倒引当金	▲2	▲0	1
固定資産	3,413	3,451	38
有形固定資産	194	207	12
無形固定資産	1,465	1,316	▲148
投資その他の資産	1,753	1,926	173
資産合計	9,253	8,215	▲1,038 ①
負債	2,949	2,176	▲772 ②
流動負債	1,787	1,151	▲636
固定負債	1,161	1,025	▲135
純資産	6,304	6,038	▲266 ③
株主資本	6,089	5,746	▲342
その他有価証券評価差額金	215	292	76
負債・純資産合計	9,253	8,215	▲1,038

資産

- ① 前連結会計年度末と比べて、事業サイクル影響（主に教育業務の売上債権回収）により、1,038百万円の減少

負債・純資産

- ② 負債：主に未払法人税等の納付により前連結会計年度末と比べて772百万円の減少
- ③ 純資産：主に利益剰余金の減少により前連結会計年度末と比べて266百万円の減少





I. 決算の状況	2
II. 業績予想	9
III. 上半期のニュース	11
IV. 中期経営計画	18
Appendix	24



2026年3月期 連結業績予想（通期）

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
2026年3月期	7,200 百万円	YoY +727 (+11.2%)	580 百万円	YoY +3 (+0.6%)	380 百万円	YoY +116 (+44.3%)
(参考) 2025年3月期実績	6,472 百万円		576 百万円		263 百万円	

2期連続で、10%超の増収を計画

- 既存ビジネスにおけるオーガニックな売上成長を継続
- 子会社のポトスとNINJAPANによる就職支援・採用支援サービス『CABUILD®』の展開及びNINJAPANの通期寄与
- 新規事業の拡販のためのマーケティング費用や将来の成長に向けた事業投資等のコスト投下を継続し、中長期的な成長に向けた取組みを強化



I. 決算の状況 2

II. 業績予想 9

III. 上半期のニュース 11

IV. 中期経営計画 18

Appendix 24





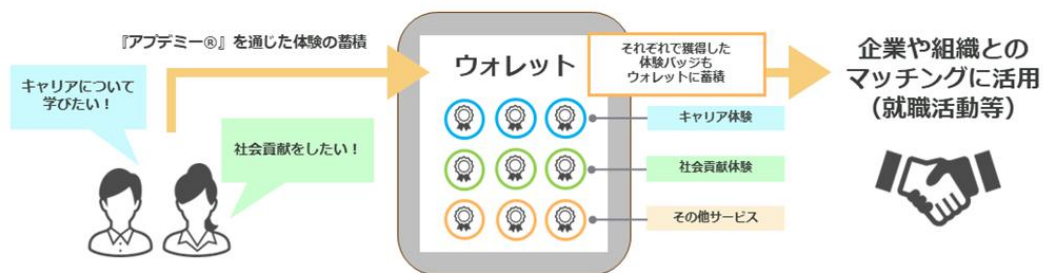
「グローバルインターンシップ・宴」にて、NFTを使ったデジタル証明を支援

「グローバルインターンシップ・宴」

- ◆ 主催：一般社団法人Transcend-Learning
- ◆ 共催：一般社団法人大阪外食産業協会（ORA）
- ◆ 大阪・関西万博のORA外食パビリオンで、留学生と日本人学生が企業の協力の下、外食産業の課題解決に挑むインターンシップ



■ 学びを証明するNFT発行プラットフォームを提供



▶ 学生の頑張りの「見える化」

学びや活動がデジタルデータとなり、実績や熱意を客観的に証明

▶ 就職活動での活用

NFTは、自己PRに活用できるほか、学生が次に取組むべき経験の提案や外食企業からのオファーを受けるきっかけにもつながる



「多様な体験」を**個人の資産**として活用し、**就職活動等での活用**を目指す

デジタル証明「NFTパスポート」や活動を証明する体験実績NFT

落合陽一サマースクール2025にて、A I アバター×NFTの実証

落合陽一サマースクール2025

- ◆ 小中学生を対象に、交流と実践的な学びで創造力や課題解決力を育むことを目的に2016年より開催
- ◆ 本年は【未来をつくる対話】をテーマに、大阪・関西万博でパビリオンのプロデュースをつとめる落合陽一氏による講義に加えて、ワークショップ形式での体験等を実施



■ A I アバター×NFTによる自己主権型アイデンティティ※管理を実証



自分専用のエージェント
A I アバターと対話



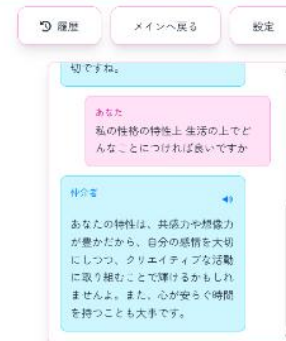
対話を通してA I アバター
が自分に近づいていく



A I アバターと本人の
アイデンティティ情報は
NFTと紐づけられ、安全
に記録



自分専用のA I アバターとの対話の様子



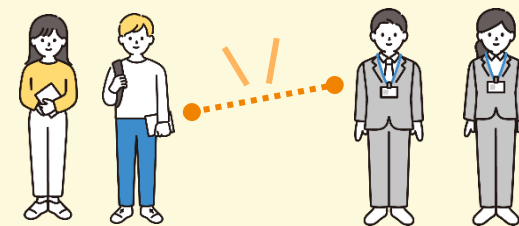
今後、個人のアイデンティティ情報を活用した**自己主権型プラットフォームサービスの提供を目指す**

※自己主権型アイデンティティ (Self-Sovereign Identity, SSI) :
今までは企業や政府に依存していた個人のアイデンティティ管理を、ユーザ自身が行えるようにすることを目指す考え方

大学生向け金融教育メディア『マネラボユ』を2025年8月にリリース

「金融リテラシーへの入口」として大学生と金融機関のマッチングをサポート

マネラボユ



✓ 専門家監修のセミナーや記事で、
家計管理から資産形成までのお金の
知識をわかりやすく提供

✓ 投資に関心のある学生と金融機関
をマッチング
企業のマーケティング活動を支援

■ 「大学生のための投資アップデート1Day」を東証ホールにて開催

➢ 金融の専門家が投資とキャリアについて講演し、学生が将来の資産形成を考える機会を提供

大学生のための /
投資アップデート1Day
未来に備える“資産形成スキル”をいま身につける
2025.9.5 Fri 13:00-17:10 東証ホール 参加費 **無料**
特別講演 DJ Nobby氏
特別講演 小林 亮平氏
BANK ACADEMY



開催日時：2025年9月5日
会場：東証ホール
参加人数：約50名
主催：株式会社ODKソリューションズ
共催：株式会社東京証券取引所
株式会社日本取引所グループ
協賛：広田証券株式会社

10代から始めるパーソナル就活『CABUILD®』の推進



CABUILD®

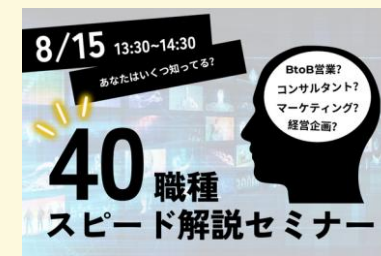
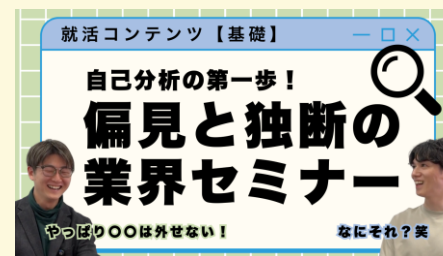
- ✓ 学生と企業の双方を支援するキャリア支援・採用支援サービス
- ✓ 学生には、就活準備のためのコンシェルジュサービスやキャリアコンテンツを提供
- ✓ 企業向けには採用イベント等により、採用のミスマッチ低減や内定辞退防止を支援

■ 奈良県庁（行政職）のインターンシップ企画・運営等を支援



- ✓ 8月～9月に開催された**奈良県庁（行政職）のインターンシップ企画・運営等を支援**。
- ✓ 県職員の仕事の魅力を伝えることを目的に、インターンシップイベントの企画～当日運営等を支援。70名の学生が参加。**他の自治体への横展開**を目指す。

■ 積極的な就活講座開催により、学生へのアプローチを強化



- ✓ 大学生向けに就活講座を3月より積極的に開催し、延べ1,000名以上のセミナー参加を獲得。
- ✓ セミナーを起点としたキャリアコンシェルジュサービスへの誘導を強化し、**就活マッチングサービスへの展開**を目指す。



eラーニング教材制作×AIエージェント 『iStudy® AI Creator』を2025年10月1日にリリース

■ 企業におけるeラーニング教材制作の課題

制作の「効率性」



手作業の教材作成に時間がかかり、本来注力すべき内容の質向上まで手が回らない

学習の「個別最適化」



画一的な教材では、学習者一人ひとりに合わせた最適な学習の提供が困難

■ 『iStudy® AI Creator』が独自の付加価値で課題を解決

iStudy LMS



SLAP



iStudy® AI
CREATOR



- ✓ AIがアウトラインやナレーションを自動で生成
- ✓ 複数のAIとRAG技術で誤情報を防止
- ✓ AI講師が学習者のレベルに合わせた個別学習を提供

既存の『iStudy®LMS』 『SLAP』に加え、**商材の拡充による顧客層の拡大を図る**

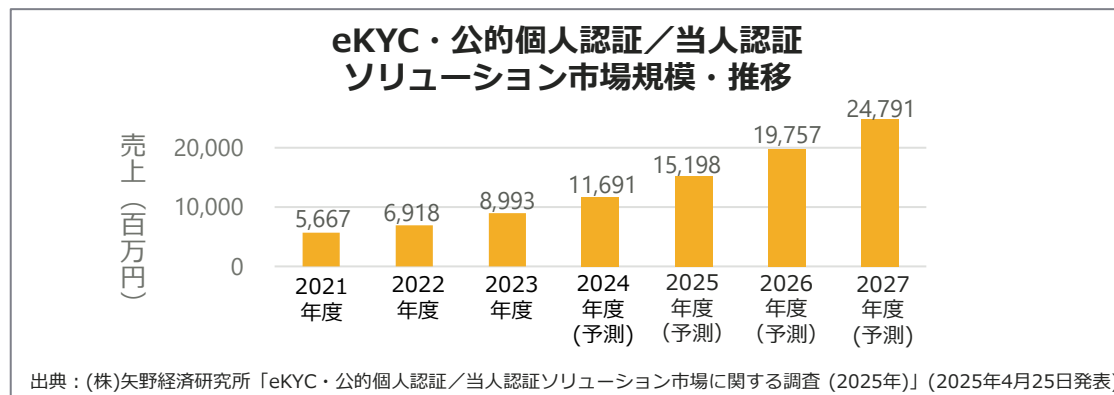
SAKIX 公的個人認証サービスの営業推進

■ 市場の機会

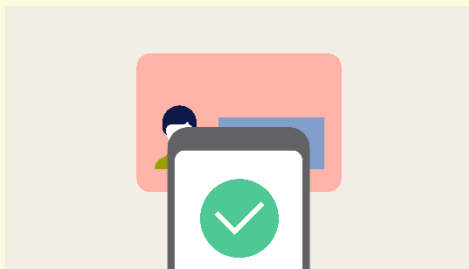
✓ 2027年 犯収法改正

オンライン本人確認が**厳格化**

- 本人確認書類の画像送信が**原則廃止**
 - マイナンバーカードによる**公的個人認証**が必須に
- **金融機関は新基準への対応が急務**



■ 公的個人認証サービス (JPKI) の提供



- ✓ マイナンバーカードで本人確認と番号収集をオンラインで完結
- ✓ 犯収法改正に完全準拠

国内最大の金融ITフェア「FIT2025」へ出展

日時：2025年10月9日～10日

場所：東京国際フォーラム

- ✓ 2027年の犯収法改正を見据え、金融機関の課題解決となるソリューションを提案





I. 決算の状況	2
II. 業績予想	9
III. 上半期のニュース	11
IV. 中期経営計画	18
Appendix	24



業績目標（連結）

データに、物語を。

売上高

9,000

百万円

経常利益

900

百万円

ROIC

7.0%

配当

年10円

【前回目標値との比較】

- ◇売上高
前回目標値比+500百万円
- ◇経常利益（率）
前回目標値比±0百万円(▲0.6%)

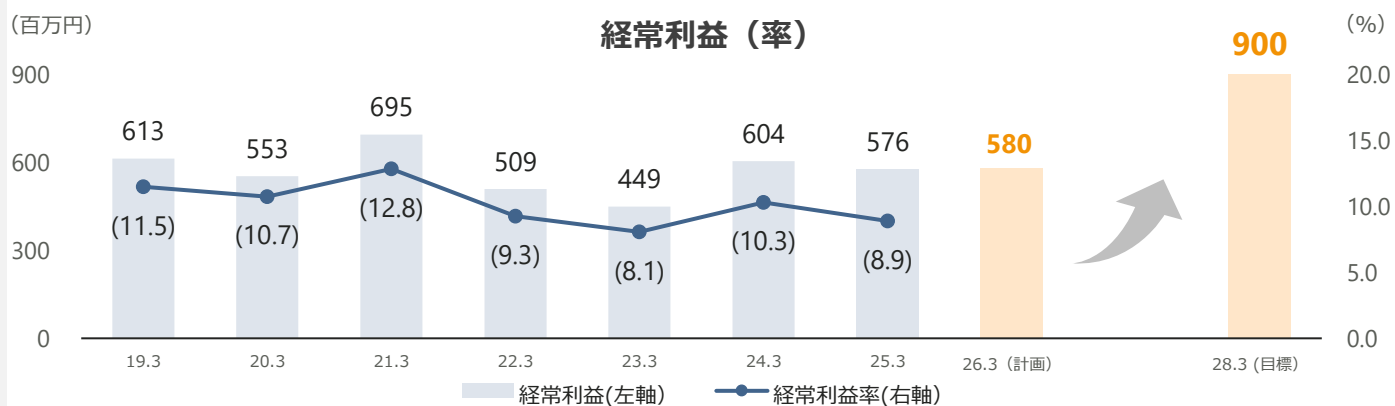
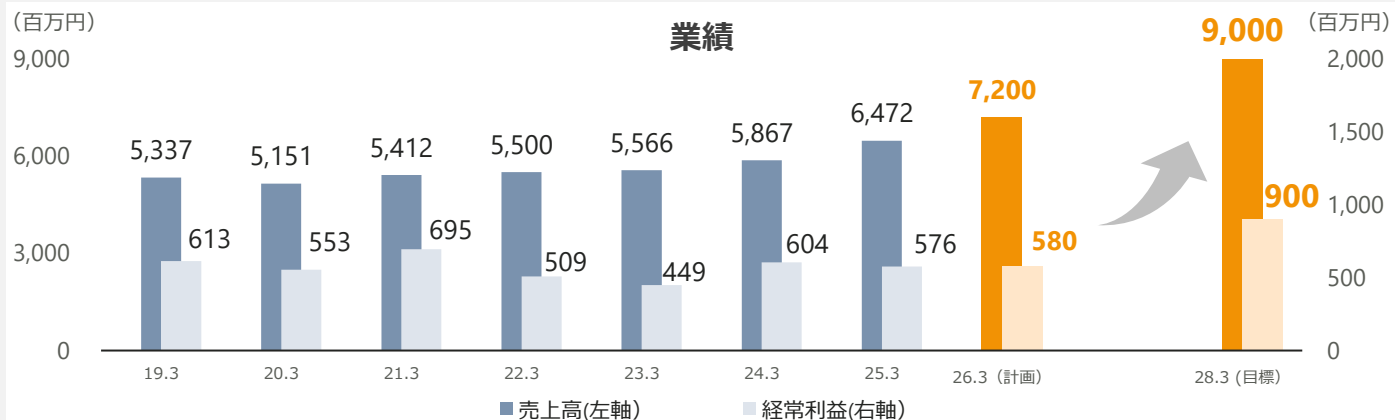
(方針)

【新収益源の創出】

- ・既存事業のオーガニックな成長に加えて、就職支援・採用支援サービス及びWeb3.0関連サービスを新たな収益源へ

【将来成長に向けた投資拡大】

- ・研究開発成果の既存ビジネスへの転用
- ・キャピタルアロケーション方針に従い、財務レバレッジを利かせ、事業の成長速度を加速



基本方針

ODKグループ拡大

基本戦略

グループシナジーの最大化

コア事業の収益基盤強化と
成長事業への積極投資

重点課題

UCARO®を軸とした
データビジネス推進

M&A・アライアンス
の推進

研究開発成果の
ビジネス展開加速

子会社合併効果の最大化
及び
CABUILD構想※の成功

重点エリア・顧客層
の拡大

※CABUILD構想とは子会社ポトスとNINJAPANが共同提供する、就活・採用を多面的に支援するサービス群のこと

➤ 『UCARO®』の持つ学生接点と他事業を融合させることによる新たなビジネスの構築

データビジネス推進によるODKの目指す姿



重点課題① 『UCARO®』を軸としたデータビジネス推進 2/2

データに、物語を。

- 学生に体験情報を蓄積できるIDを付与。日常の活動を価値化する仕組みの提供を目指す
- 学生との接点を大学入試の一時点から、大学生活、就職活動等、継続的な接点を確保

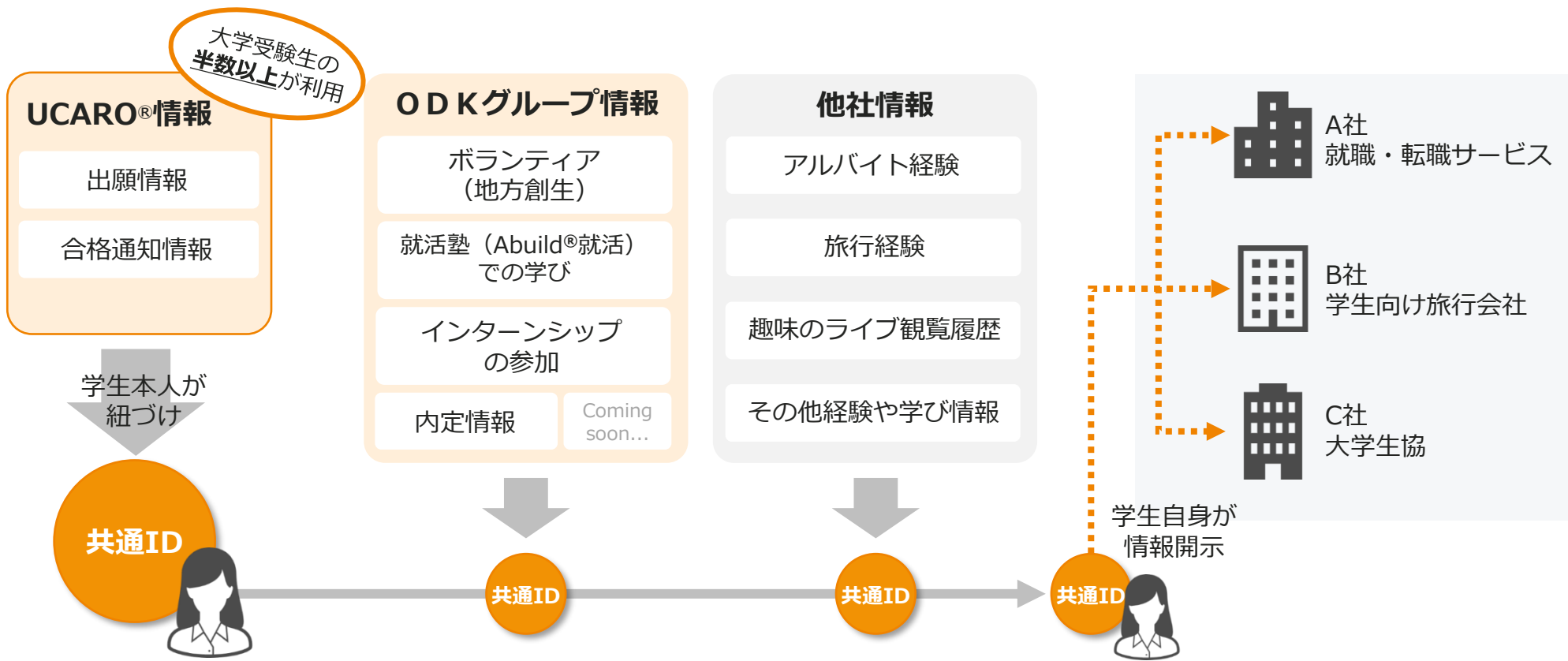
メリット

学生

学生の日々の努力（読書、イベント参加、特技など）をデジタルデータとして蓄積・分析し、就職活動や進路選択などで、最適なマッチングの実現や証明等、将来の様々な場面で、自身の経験を活用できるようになる。

企業

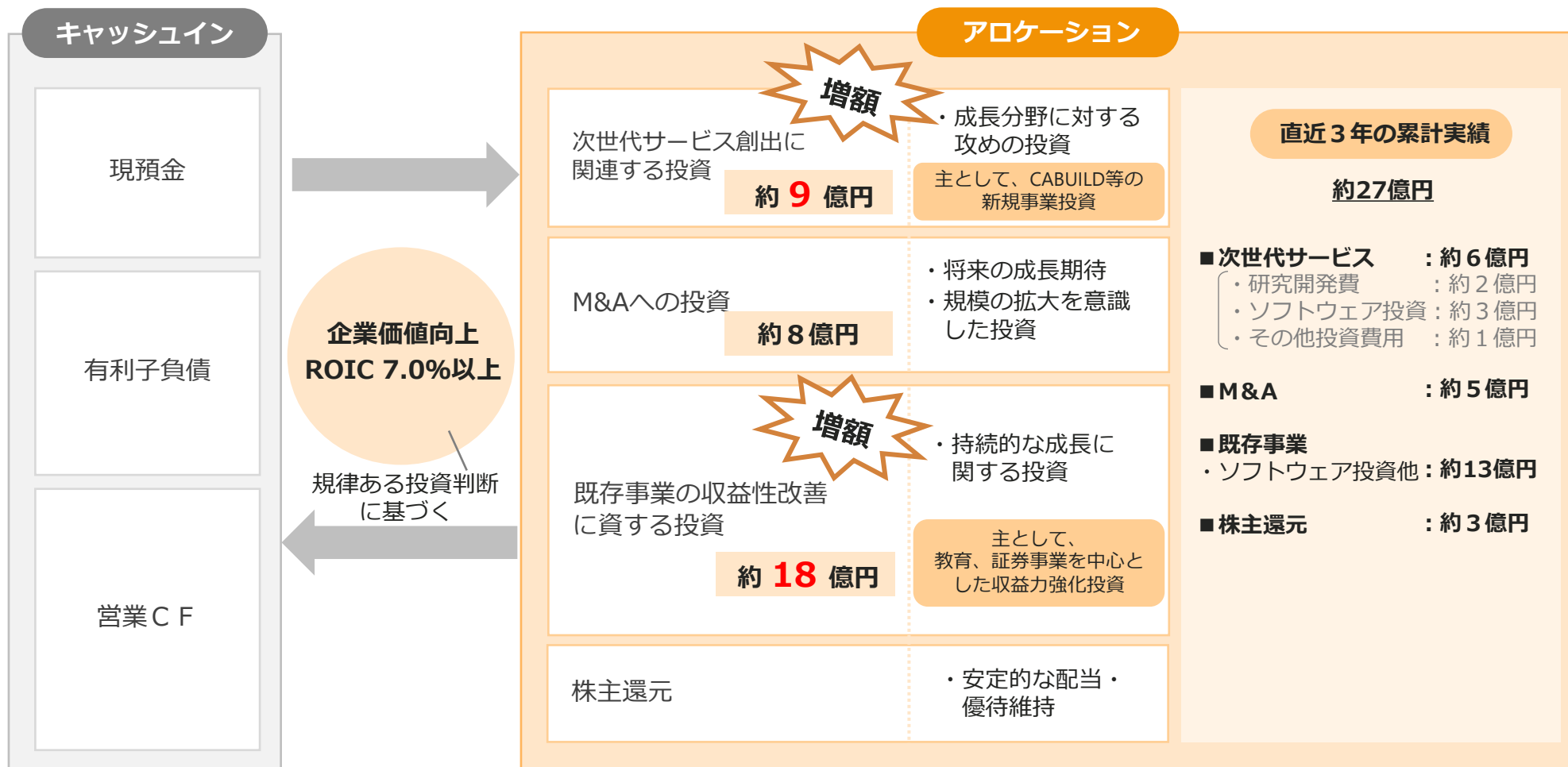
学生の情報をサービス横断で取得することができるため、多視点で学生の趣味嗜好を把握することが可能。より精度の高いマーケティングやマッチングが可能になり、成約単価の軽減や売上拡大が期待できる。




キャピタルアロケーション方針

データに、物語を。

- 財務基盤の健全性は維持しつつ成長投資を行うため3年間で35億円超の投資枠を設ける
- 安定的かつ継続的な配当・株主優待は堅持



I. 決算の状況	2
II. 業績予想	9
III. 上半期のニュース	11
IV. 中期経営計画	18
 Appendix	24



株主還元について

2025年3月期 配当金実績（通期）

配当金	配当性向（連結）
普通配当金額 1株当たり 10円 （うち、中間配当 5円）	31.0%

株主優待



総合利回り
3年未満 3年以上
4.44% ~ 6.22%



基準日	保有株式数	継続保有期間	優待内容
9月末・3月末	1単元（100株）以上	3年未満	500円相当のクオカード
		3年以上	1,000円相当のクオカード

議決権行使株主優待

（議案の賛否に関わらず、議決権を有効に行使していただいた株主様に贈呈。）

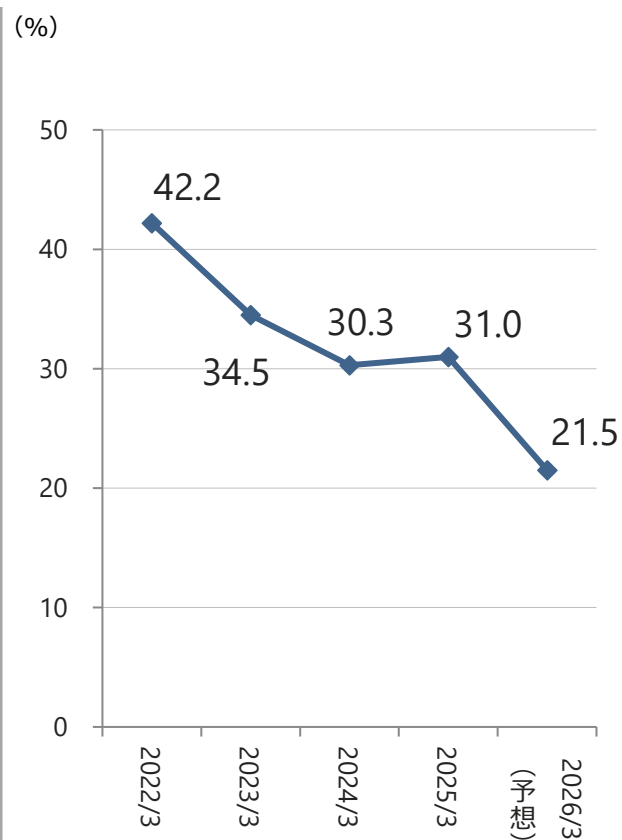
優待内容
500円相当のクオカード

- ・保有株式数1単元（100株）を保有の場合
- ・株主優待+議決権行使優待+配当金の合計
- ・2025年3月末実績（株価 563円）で計算



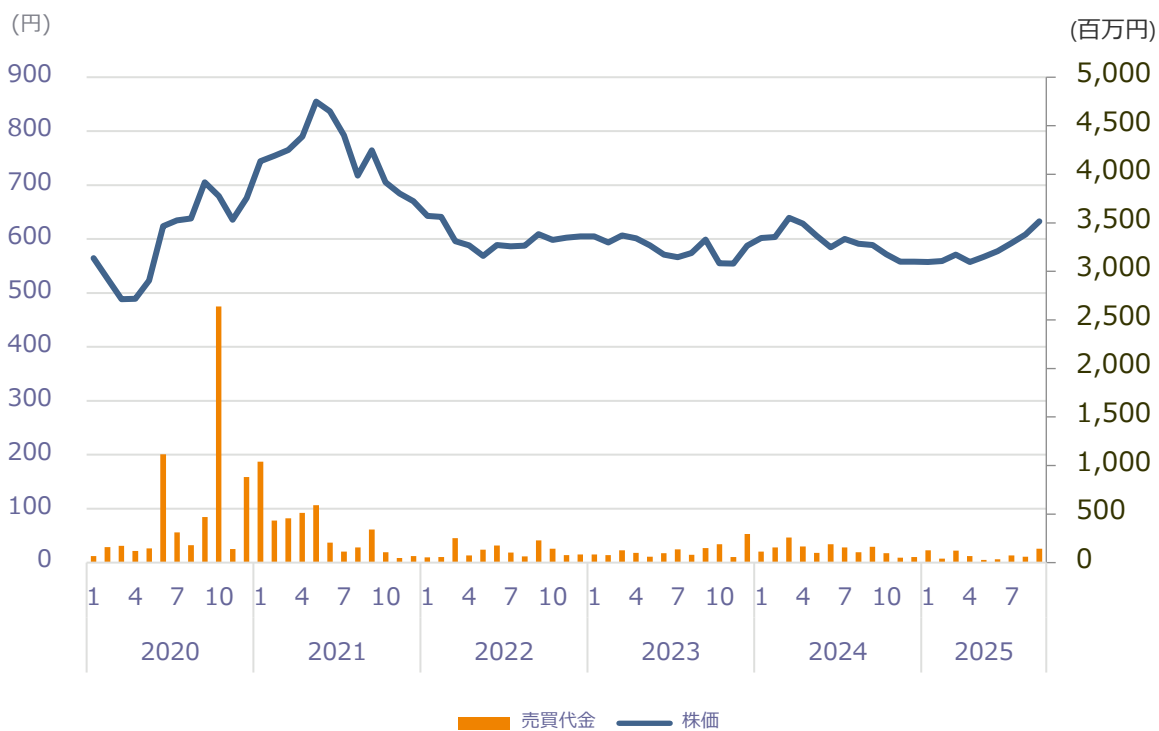
配当性向及び売買代金

■ 配当性向



※配当性向は、連結ベース

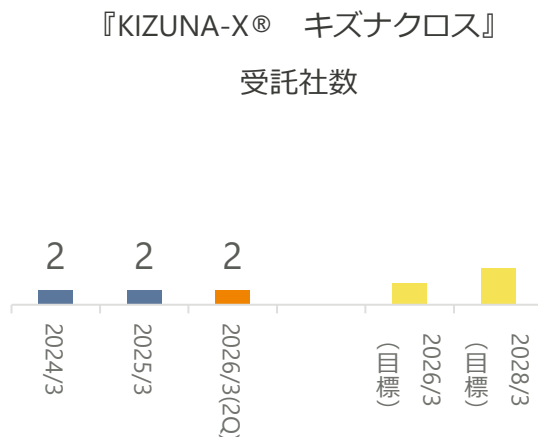
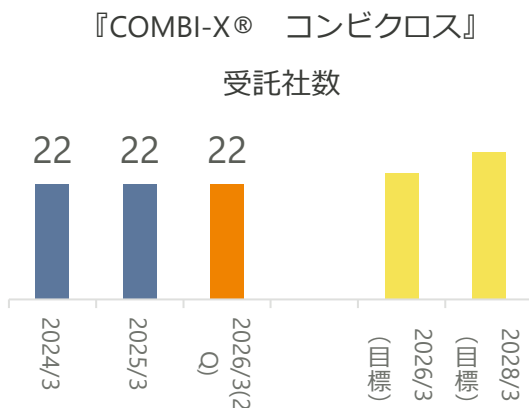
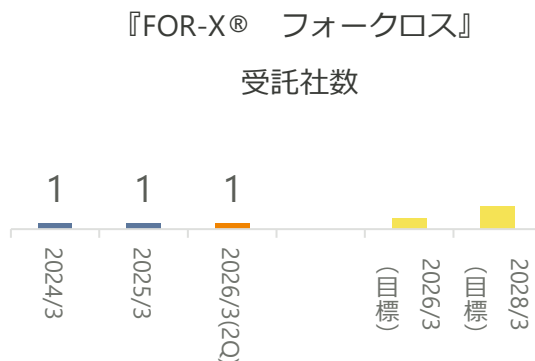
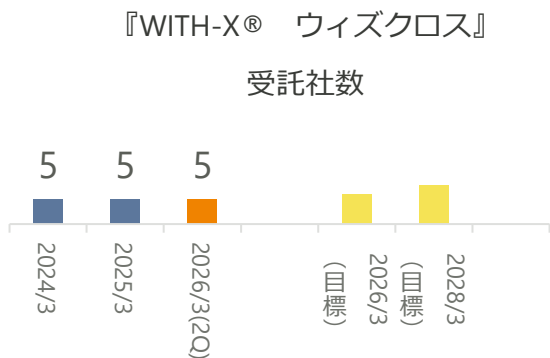
■ 株価・売買代金の推移



※月次平均



証券・ほふり業務における受託及び中期目標

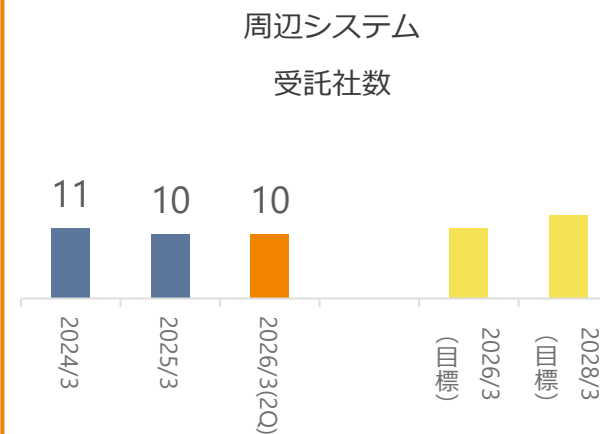
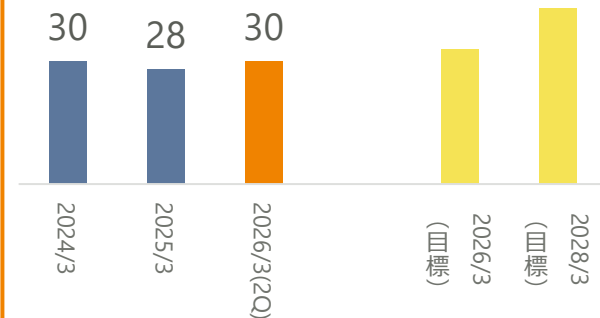


※2023年3月より、サービス名を変更しております。

(旧) 『SENS21』→『WITH-X® (ウィズクロス)』、(旧) 『Watch21』→『FOR-X® (フォークロス)』

(旧) 『ほふり接続システム』→『COMBI-X® (コンビクロス)』、

(旧) 『IFA専用Web取引システム』→『KIZUNA-X® (キズナクロス)』



※『SAKIX』『マイナワン®』に含まれない、その他証券業務(取引残高報告書関連事務、相続業務等)の周辺システム

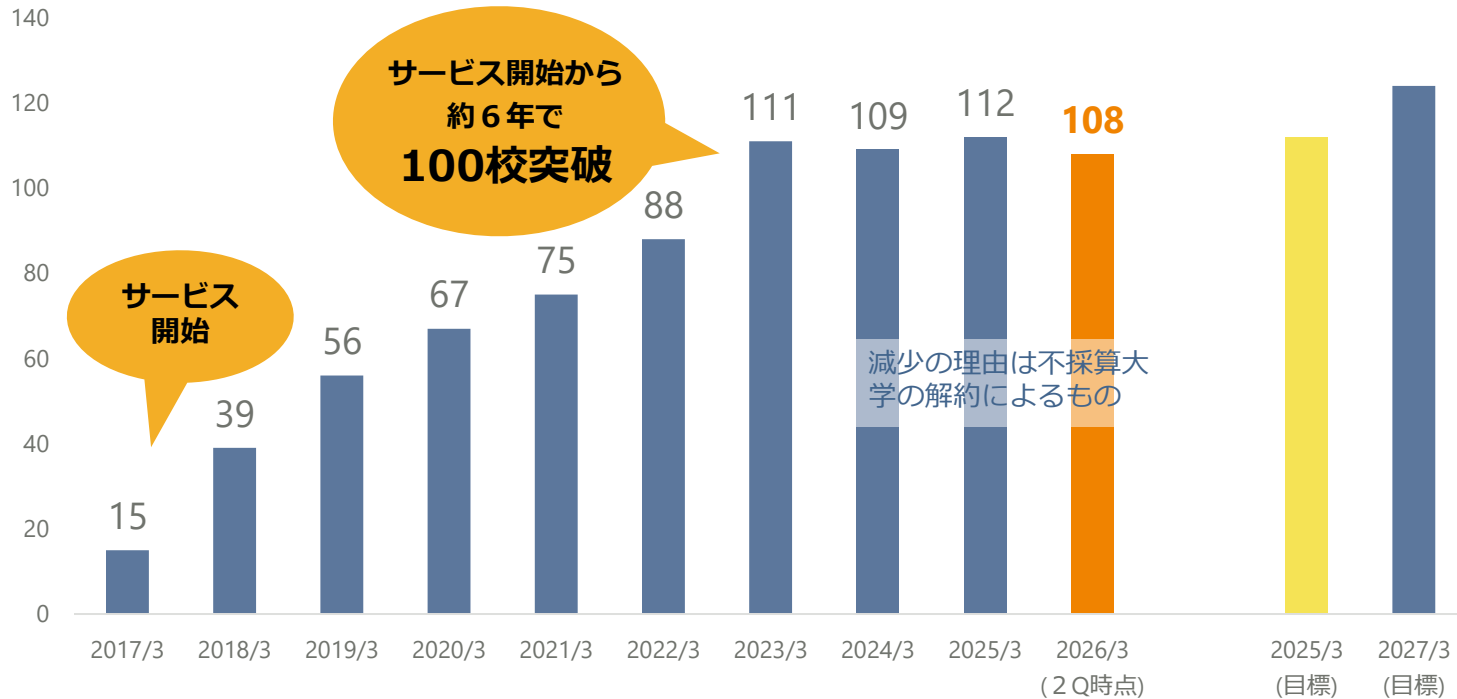


教育業界における受託目標及び中期目標

『UCARO®』受託校推移（4年制大学向け）



マッチングのためのデータプラットフォームとして
デファクトスタンダードを目指す



※日本の大学数（短期大学を除く）は、813大学（2024年時点）
出典：文部科学省 令和6年度学校基本調査

当社の情報発信

データに、物語を。

当社の「今」をお伝えし、ご理解を深めていただくため、様々なかたちで最新情報を発信しております。

● コーポレートサイト



● 個人投資家向けページ



● I R 情報メール



経営理念

情報サービス事業を通じて 顧客の繁栄・社会の発展に貢献する。

経営基本方針

- 常に技術の向上を図り、優れたサービスを提供し、顧客のさらなる信頼を得る
- 先を見据えたグローバルな視野で、未来を創造する
- 働く喜び・生きがいを感じられる、魅力ある会社生活を実現する

株式会社ODKソリューションズ

〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目6番7号

TEL. 06-6202-0413

FAX. 06-6202-0445

URL. <https://www.odk.co.jp>

担当：経営戦略室

証券コード
【3839】





データに、物語を。

株式会社 ODKソリューションズ

●本 社

〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町 1-6-7 JMFビル北浜 01 TEL.06-6202-3700(代表) FAX.06-6202-0445

●東京支店

〒104-0033 東京都中央区新川 1-28-25 東京ダイヤビル TEL.03-3551-3512(代表) FAX.03-3551-3519

●五反田オフィス

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-11-8 学研ビル TEL.03-5740-7200 (代表) FAX.03-3495-0270

【公式 Web サイト】 <https://www.odk.co.jp>

【注意事項】

本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社 ODK ソリューションズに属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

【予想に関する留意事項】

本資料に記載されている業績見通しは、当社が合理的と判断する一定の前提にもとづき作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

